

# 「初めて参加」

県法連地域社会貢献運動（ヤビツ峠草刈り）に、私は今回初めて参加してきました。

7月26日、秦野駅南口に集合、バス5台に分乗組と現地集合組と併せて、県下全体で270余名の参加、その内緑法人会から20名（親会9名、青年部3名、女性部7名、事務局1名）の参加がありました。

当日は、前日の大雨に打って変わって晴天とまではいきませんが、風もなく、強い日ざしもなく、穏やかな中、「法人会の森」に着き、開会式後大きな鎌とヘルメットが配られ、草刈りのインストラクターの指導のもと、緑法人会の刈るブロックに移動、私も定位置より刈り始めましたが、どこに植樹した「苗木」があるのか、5年目の木と聞き、少しは元気に育っている事と、1m位の芽を押し分け探して、目印の赤い棒の周りを押し分け、刈り始め



ましたが、苗木なしの所が多々あり、見つかっても余り育っている様子もなく、最初に見た山の姿は、「茅の山（茅戸）」が見まちがう程に、雑草の生命力の強さに圧倒されました。

それでも約1時間半程度たつと、やはりすごい物である。全員の力で芽は全部刈り取られ、山肌から苗木が顔をだしていました。刈り取られた芽は片付けずにそのまま朽ちらせるのか、後で誰かが乾いてから片付けるのか少し気がかりのまま、その後各法人会ごとに食事をとり、行きと同様に下山しました。

私が初めて参加出来て感じ入る所は、毎年毎年同じように年に一度でも草刈りをしてあげないと、今でも良く育っていけないなかを、共に雑草と共存しながら根をはって、頑張っ育て、何十年後に一本の木になればと思わずにはいられませんでした。

時期同じくしてテレビニュースでは、森林伐採の為か、山を切り開き造成地作りの為か分かりませんが、九州地方では大雨が降り続いた為、土砂災害がおりり民家が押し潰され、生き埋めになっている人達の状況を連日中継されていました。それを見るに付け、今迄、あまり木立や森林の重要性を考える事なく暮らしてきましたが、今回の苗木の育ち具合を見たら、一本でも多く次世代の子供達へ残してあげたいと思いました。

（野路幸子記）

# 「企・起業おたすけPLAZA」

6月13日(金) 法人会事務局において「企・起業おたすけPLAZA」のPR会が、青年部例会と合同で開催されました。当日は、32名の参加者があり、青年部と「企・起業おたすけPLAZA」(以下「おたすけPLAZA」)とも、3名に新規加入いただきました。「おたすけPLAZA」の参加会員企業は51社となり、その後も増え続けています。

7月11日(金)の「PR会」では、20名の参加がありました。各自、各自社の製品のパンフレットを参加者に配り、自社の得意商品やサービスを宣伝、アピールし合いました。

「PR会」はこれまでは「勉強会」として親しまれていましたが、「おたすけPLAZA」の理解、利用の促進を希求、「PR会」と改名し、皆様にご参加いただくようになりました。「おたすけPLAZA」は法人会の会員の有志が集まって結成されました。「おたすけPLAZA」会員は、各々の得意商品やサービスで、会員向けの特別値引き価格（「PLAZA会員価格」）を設定しています。その「PLAZA会員価格」で、



PLAZA会員相互で、企業の基本的ニーズを、より廉価で迅速に供給し合える組織となっています。法人会の会員であれば、どちらの会社でも参加ができること、また、新たなマーケットを自ら開ける可能性など、これから起業し新たに法人会会員登録をお考えの方にも、加入が簡単で、利用価値の大きいものと好評で、参加者が増えています。

「PR会」では、「おたすけPLAZA」の会員相互に自社製品の宣伝、PLAZA価格で購入した実例の発表をしていただいています。

また、「おたすけPLAZA」は、旧称「インターネット同好会」を前進とする現「IT倶楽部」と連携しています。PR会では、多くの商談成立とともに、HP作成・ドメイン取得などの企業の基本的な日常業務のサポートを受けている等の事例も多数あります。

「PR会」は毎月第2金曜開催です。次の開催は9月12日、10月10日、11月は7日です。